商品名　タリビッド錠100mg 医薬品基本情報

薬効	6241 ピリドンカルボン酸系製剤	一般名	オフロキサシン錠
英名	Tarivid	剤型	錠
薬価	82.80	規格	100mg 1錠
メーカー	アルフレッサ　ファーマ	毒劇区分	

タリビッド錠100mgの効能・効果

慢性膿皮症、リンパ管炎、リンパ節炎、深在性皮膚感染症、表在性皮膚感染症、(外傷、熱傷、手術創)の二次感染、咽頭炎、急性気管支炎、喉頭炎、肛門周囲膿瘍、乳腺炎、肺炎、扁桃炎、慢性呼吸器病変の二次感染、顎炎、角膜潰瘍、子宮内感染、歯冠周囲炎、子宮付属器炎、歯周組織炎、腎盂腎炎、胆管炎、胆嚢炎、中耳炎、腸チフス、尿道炎、麦粒腫、パラチフス、バルトリン腺炎、副睾丸炎、副鼻腔炎、膀胱炎、瞼板腺炎、涙嚢炎、感染性腸炎、ハンセン病、精巣上体炎、前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞、子宮頸管炎、角膜炎

タリビッド錠100mgの使用制限等

1.	類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所：使用上の注意 注意レベル：禁止
2.	腎機能障害、糖尿病、スルホニルウレア系薬剤投与中、インスリン製剤投与中	記載場所：重大な副作用 注意レベル：注意
3.	痙攣性疾患又はその既往、てんかん又はその既往、類薬で過敏症の既往歴、重症筋無力症、大動脈瘤の家族歴、大動脈解離の家族歴、大動脈瘤又はその既往、大動脈解離又はその既往、マルファン症候群、大動脈解離のリスク因子のある、大動脈瘤のリスク因子のある、重度腎機能障害、クレアチニン・クリアランス30mL／min未満	記載場所：使用上の注意 注意レベル：注意

タリビッド錠100mgの副作用等

1. ショック、アナフィラキシー、紅斑、悪寒、呼吸困難、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens－Johnson症候群、痙攣、QT延長、心室頻拍、Torsades de pointes、急性腎障害、間質性腎炎、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、嘔気、嘔吐、食欲不振、倦怠感、そう痒、無顆粒球症、発熱、咽頭痛、汎血球減少症、血小板減少、溶血性貧血、ヘモグロビン尿、間質性肺炎、好酸球性肺炎、咳嗽、胸部X線異常、好酸球増多、偽膜性大腸炎、血便、重篤な大腸炎、腹痛、頻回の下痢、横紋筋融解症、急激な腎機能悪化、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、低血糖、低血糖性昏睡、アキレス腱炎、腱断裂、腱障害、腱周辺の痛み、浮腫、発赤、錯乱、せん妄、抑うつ、精神症状、過敏性血管炎、関節痛、紫斑、斑状丘疹、白血球破砕性血管炎、重症筋無力症悪化、大動脈瘤、大動脈解離、末梢神経障害、しびれ、筋力低下、痛み

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

2. 過敏症、光線過敏症、幻覚、興奮、不安、意識障害、錐体外路障害、血尿、尿閉、無尿、頻尿、胸痛、関節痛、関節障害、筋肉痛、脱力感、発汗、高血糖

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

3. 発疹、不眠、頭痛、BUN上昇、クレアチニン上昇、AST上昇、ALT上昇、ALP上昇、γ－GTP上昇、白血球減少、好酸球増多、悪心、嘔吐、下痢、食欲不振、腹痛、消化不良、腹部不快感

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

4. 浮腫、蕁麻疹、熱感、そう痒、振戦、しびれ感、めまい、眠気、貧血、口内炎、舌炎、口渇、便秘、腹部膨満感、耳鳴、味覚異常、視覚異常、倦怠感、発熱、動悸

記載場所	その他の副作用
頻度	0.1%未満

5. 大動脈瘤、大動脈解離、胎仔発育抑制、胎仔骨格変異、関節異常、腱障害

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

タリビッド錠100mgの相互作用

1. 薬剤名等 ： 副腎皮質ホルモン剤

発現事象	腱障害のリスクが増大	投与条件	-
理由・原因	-	指示	相対禁止

2. 薬剤名等 ： スルホニルウレア系薬剤投与中

発現事象	低血糖、低血糖性昏睡	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

3. 薬剤名等 ： インスリン製剤投与中

発現事象	低血糖、低血糖性昏睡	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

4. 薬剤名等 ： フェニル酢酸系非ステロイド性消炎鎮痛薬

発現事象	痙攣	投与条件	-
理由・原因	中枢神経におけるGABAA受容体への結合阻害が増強	指示	注意

5. 薬剤名等 ： プロピオン酸系非ステロイド性消炎鎮痛薬

発現事象	痙攣	投与条件	-
理由・原因	中枢神経におけるGABAA受容体への結合阻害が増強	指示	注意

6. 薬剤名等 ： アルミニウム含有の制酸薬

発現事象	本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤とキレートを形成し、本剤の吸収が低下	指示	注意

7. 薬剤名等 ： マグネシウム含有の制酸薬等

発現事象	本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤とキレートを形成し、本剤の吸収が低下	指示	注意

8. 薬剤名等 ： 鉄剤

発現事象	本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤とキレートを形成し、本剤の吸収が低下	指示	注意

9. 薬剤名等 ： クマリン系抗凝固薬

発現事象	作用を増強しプロトロンビン時間の延長	投与条件	-
理由・原因	ワルファリンの肝代謝を抑制、又は蛋白結合部位での置換により遊離ワルファリンが増加	指示	注意

薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量
Drug Intelligence Reinforce
医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.